

10年後の泉北ニュータウンを見据えた計画を達成できるよう、定期的な事業達成度の確認や KPI（重要業績評価指標）による検証、時代潮流の変化に合わせて取組内容の見直しを図ります。

1. 基本方針の KPI（案）

○基本方針 1: 多様な世代が住み、働き、安心して暮らし続けることができるまちをめざす

| | |
|------|---|
| 評価指標 | NT 全人口に対する 39 歳以下の人口割合の上昇 |
| 設定根拠 | 泉北 NT 住まいアシスト事業補助金の対象が、若年夫婦世帯もしくは子育て世帯となっており、おおむね 39 歳以下を想定されているため |
| 算出方法 | 住民基本台帳人口及び外国人登録人口（現状値は令和 2 年、目標値は令和 12 年で設定。両年とも年度の中間である 9 月末日データを使用） |

| | |
|------|---|
| 評価指標 | 南区住民の健康寿命の延伸 |
| 設定根拠 | 新指針の新しいテーマのひとつが「健康長寿」であり、今後の高齢化を見据え、健康寿命の高いまちをめざす必要があるため |
| 算出方法 | サリバソ法により健康寿命を算出（年齢別の「健康・不健康」の割合については、独自アンケートの実施が必要）し、経年変化をみる※ |

| | |
|------|---|
| 評価指標 | 働く場の増加 |
| 設定根拠 | 個人事業者への起業支援等を通じて、泉北 NT を働く場としての機能を付与することが必要であると考えため |
| 算出方法 | 経済センサス基礎調査（民営事業所の総数） |

○基本方針 2: 豊かな緑空間と多様な都市機能が調和したまちをめざす

| | |
|------|--|
| 評価指標 | 泉北 NT 内における地場野菜の直売所及び取り扱い店舗数の増加 |
| 設定根拠 | 地産地消型のまちをめざすことは、田園空間と調和した人と環境にやさしいまちを実現することにつながると考えるため |
| 算出方法 | 「堺のめぐみ」認定ブランドより申請者数をカウント |

| | |
|------|--|
| 評価指標 | 南区の昼間人口の増加 |
| 設定根拠 | ベッドタウンだけの機能から脱却し、昼間遊べるまち、学べるまち、働けるまちとしての機能を付与することで、昼間人口が増加すると考えるため |
| 算出方法 | 国勢調査 |

○基本方針 3: 市民、企業、大学、団体など様々な主体と想いを共有し創造するまちをめざす

| | |
|------|---|
| 評価指標 | 泉北高速鉄道 3 駅の乗降客数の維持 |
| 設定根拠 | 広域来訪者の増加をめざし、シティプロモーションの展開や、多様な交流を促す場の創出により、泉北高速鉄道 3 駅の乗降客数の増加に結び付くと考えるため |
| 算出方法 | 泉北高速鉄道への問い合わせ 通勤通学定期の利用者を除く 3 駅の合計 |

○基本方針 4: ICT 等の先端技術や社会資本の効果的な活用・運営により、持続可能で魅力的なまちをめざす

| | |
|------|---|
| 評価指標 | 地価の上昇 |
| 設定根拠 | 泉北ニュータウンの都市魅力、地域価値の向上により、地価の上昇に結び付くと考えるため |
| 算出方法 | 公示地価、基準地価 |

| | |
|------|---|
| 評価指標 | 空き家数の減少 |
| 設定根拠 | 空き家の解消や活用を図ることで、税収が確保され、健全な都市経営が推進されると考えるため |
| 算出方法 | 水道の契約者数 |

2. 分野別分類の指標（案）

各分野の取組を実施・実現することによる市民の行動の変化を検証する指標として設定します。

■分野別分類の指標 一覧

| 分野別分類 | 評価指標 |
|-----------------|--|
| 1 住まい | ○街の風景をゆっくり眺めた ○友人・知人から、泉北ニュータウンの住環境がいいねと声掛けされた |
| 2 働く場 | ○友人・知人のネットワークでニュータウン地域内の仕事を紹介された・紹介した ○自宅以外のニュータウンの場所でリモートワークをした |
| 3 子育て・教育 | ○通りや近くの公園で遊ぶ子どもたちの声を聞いた ○日常的に、公園や里山で子どもや孫と遊んでいる |
| 4 健康長寿 | ○健康のためになるイベントやセミナー・市民講座に参加した ○身近に健康を相談できる人、場所、システムに接した ○健康遊具やウォーキングにより適度な運動をした |
| 5 緑空間 | ○地元でとれる食材を使った料理を食べた ○ニュータウン内や旧村部で野菜づくりをした ○木陰で心地よい風を感じた ○公園や水辺で緑や水に直接ふれた |
| 6 都市機能 | ○活気ある街の喧騒を心地よく感じた ○居住地の近くにできた新しいお店に行った |
| 7 交通 | ○遠回り、寄り道していつもは歩かない道を歩いた ○緑道や駅前で歩くことが増えた ○ニュータウン内の移動は、積極的に自転車や公共交通機関を利用した |
| 8 コミュニティ ・交流 | ○休日にニュータウン地域内で友人・知人と遊んだ ○地域のボランティアに参加した ○ニュータウン内のコミュニティ（集い、団体、サークル）に1つ以上所属している |
| 9 共創 | ○市の広報紙を毎月読み、泉北ニュータウンの事業に関心を持っている ○市民の声や市政モニターアンケート等で、市に対して提案を行った |
| 10 スマートシティ | ○自宅に太陽光発電システムを導入している ○公共空間でWi-Fiを利用した ○次世代モビリティを利用した |
| 11 プロモーション | ○土地・土着のお寺や神社にお参りをした ○泉北ニュータウンの魅力を感じるイベントに参加した ○泉北ニュータウンの魅力を地域外の友人・知人に伝えている |

※都市経営のKPIは設定せず

3. 各主体による事業の検証・評価（案）

行政において、おおむね1年ごとに事業の達成度や住民との協働状況などを把握し、進捗確認を行います。

また、各取組方針に示す取組の実施・実現による泉北ニュータウン住民の行動の変化を把握するため、おおむね2～3年ごとに、Webアンケート等により、事業効果等を把握・検証します。